

昭和四十八年三月十四日提出
質 問 第 六 号

核兵器と憲法との関係に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和四十八年三月十四日

提出者 永末英一

衆議院議長 中村梅吉殿

核兵器と憲法との関係に関する質問主意書

三月十三日の衆議院予算委員会において、田中総理は私の質問に答え、「核兵器は攻撃的な兵器」であり、「憲法に背反」するとの見解を明らかにされた。

この見解は、これまで政府が、昭和三十二年五月参議院予算委員会での岸首相の発言、昭和三十九年三月参議院予算委員会での林内閣法制局長官の発言、昭和四十年十二月参議院日韓特別委員会での佐藤首相ならびに高辻内閣法制局長官の発言等で明らかにしてきた「防衛目的に限った戦術核兵器は合憲」という見解を政府自ら変更したものと考えられるがどうか。

右質問する。